



クリスマスコンサート新聞



本年度で22回目を迎える歴史あるクリスマスコンサートは、「あなたがいてくれてありがとう(2007年)」や「喜び、祈り、すべてに感謝(2008)」など、様々なテーマをもとに、毎年積み重ねられて参りました。

そして2009年のテーマは『いのち輝くホスピタリティ』です。今回は、そのテーマを考案した実行委員長でもある小川卓総務部長に、コンサートにかける思いを突撃インタビューしてきました。

実行委員長

独占インタビュー



—— 何年振りの委員長ですか？

10年振りぐらいですかね。オブザーバーとしては入職以来毎年参加してきました。

—— 今回の「いのち輝くホスピタリティ」のテーマを選んだのはどのようなことからですか？

40年にわたって当院を支えて下さったすべての方々への感謝の気持ちを、ホスピタリティ＝「心のこもったおもてなし」として、お伝えしたいと考え、テーマとさせていただきます。

—— 小川部長の考える「おもてなしの心」とは、どんなものですか？

目に見えないところにこそ大切なものがあると思います。しっかりとした専門技術の上に、そんなおもてなしの心に重きを置いてきたからこそ、今日の川越胃腸病院があるのでは・・・と思っています。

—— 現在準備が着々と進んでいます、今回の運営上のポイントはどこですか？

今年は特に「安全な運営」を心がけていきたいと思っています。病院で行うコンサートであるからこそ、インフルエンザ対策をしっかりと行い、ご入院中の方や、来ていただいた方に安心して参加していただきたいです。過去に参加された方からの声も運営に活かしていきたいです。特に多かった「待合室の柱で舞台が見えなかった」という声には、なんとかお応えしたいですね。

—— 佐野成宏様のCDを聴いた感想はどうでしたか？

深い声の響きにビビッときました(笑)。まだ実際にはお会いしていませんが、ホームページを拝見して、飾らないお人柄に誠実さを感じました。今日、ちょうどマネージャーの方からメールをいただいたところです。「・・・川越胃腸病院の実行委員のみなさんが、CDを聞いてくださったことをとても喜んでおりました・・・」といった内容です。我々が手づくりでコンサート準備を行っていることを理解し、喜んでくださる感性というのは、嬉しいことですよね。

—— そのような交流が、コンサート前から行えるというのはとてもいいですね。

そうですね。これは今までやりたくても、なかなか出来なかったことなので、出演者と客席とスタッフが一体感を持ったコンサートにしていきたいですね。ちょっと敷居の高いオペラ曲も、佐野様のトークがあれば親しみがわくでしょうし。

—— 手づくりのキャンドルに今年も期待がかかっていますが・・・

結婚式場で棄てられるキャンドルがもう一度活躍。まあお金がかかっていないというのもトレンドですね。去年作成したキャンドルのリメイクにはなりますが、今年は40周年を祝うメッセージを込めてみたいと思います。

—— 最後に今回のコンサートへの意気込みを聞かせてください。

病院で一番大きな行事としての意義をみんなで確認し合いながら、安全で爽やかな印象のコンサートにしたいですね。スタッフに負荷がかかり過ぎないように、新しさや派手さではなく、胃腸病院らしさがにじみ出るようなものになるよう、みんなの思いを一つにしながら進めていきたいです。どうぞよろしく。



川越胃腸病院 クリスマスコンサート実行委員会 監修

随時、コンサートの進行状況と携わる人たちの活動を集めています。どうぞお楽しみに♪

クリスマスコンサートまで、

あと **78** 日

